

# 令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 商業・サービス産業支援課  
 担当名: 商業担当  
 内線: 3761

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B9	商店街・まちなか活性化支援事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	中心市街地等商店街活性化促進事業費		
事業期間	令和 2年度～ 令和 6年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	11 1103	稼げる力の向上 商業・サービス産業の育成	SDGsゴール SDGsターゲット	8, 9, 17 8-2, 9-1, 17-17
1 事業の概要	商店街訪問や商店街調査の結果を踏まえ、商店街の状況に応じて活動基盤や商機能の向上支援を実施するほか、来街促進のために商店街が行う商機能以外の住民ニーズへの対応(複合化)を支援する。  ア 商店街ステップアップ支援事業 △4,912千円 補助金が見込みを下回ったこと等による減額 イ 地域商業機能複合化推進事業 △44,092千円 補助金が見込みを下回ったこと等による減額			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 商店街ステップアップ支援事業 36,023千円 商店街の状況に応じた支援により、活動基盤や商機能のステップアップを図る。 イ 地域商業機能複合化推進事業 44,201千円 商店街の最適な店舗構成の実現に向け、ハード事業、ソフト事業を支援する。 (2) 事業計画 ア 補助金募集(5月～6月)、審査会(6月)、事業実施(7月～)、専門家派遣(通年)、実践型ワークショップ イ 補助金募集(5月～6月)、審査会(6月)、事業実施(7月～) (3) 事業効果 商店街等の行う新たな取組への支援、商店街活動に不可欠な人材の育成により、新たな活性化が図られる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 地元商業者、創業希望者、学生、商工団体や行政(地元市町村・県)が協働して事業を実施する。 (5) 補正予算の概要 ア 補助金が見込みを下回ったこと等による減額 イ 補助金が見込みを下回ったこと等による減額						
2 事業主体及び負担区分	ア (県1/2)事業者1/2、(県2/3)事業者1/3、 (県1/3・市1/3)事業者1/3 イ 地域商業機能複合化推進事業補助金 (県1/4・国1/2)事業者1/4、(県1/6・国2/3)事業者1/6									
3 地方財政措置の状況	普通交付税(単位費用) (区分)商工行政費(細目)商業振興費 (細節)商店街等振興費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×5.0人=47,500千円									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金								
決定額	△49,004	△34,778							△14,226	31,220
現計額	80,224	65,889							14,335	

## 事業内訳書

事業名	商店街・まちなか活性化支援事業		
単位事業名	商店街ステップアップ支援事業	予算額	△ 4,912千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△519	—	旅費の執行が見込みを下回ったことによる減
使用料及び賃借料	△320	—	補助金審査会などの会議室使用料の減
負担金、補助及び交付金	△4,073	—	補助金の執行が見込みを下回ったことによる減
合計	△4,912	—	

単位事業名	地域商業機能複合化推進事業	予算額	△ 44,092千円
-------	---------------	-----	------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△20	—	現地訪問や打ち合わせの回数が見込みを下回ったことによる旅費の減
需用費	△20	—	事務費の節減により生じた消耗品費の減
役務費	△2	—	事務費の節減により生じた郵送料の減

単位事業名	地域商業機能複合化推進事業	予算額	△ 44,092千円
-------	---------------	-----	------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	△50	—	補助金審査会などの会議室使用料の減
負担金、補助及び交付金	△44,000	—	交付件数及び交付金額が見込みを下回ったことによる補助金の減
合計	△44,092	—	